

# 暮らしの瓦版

2021年  
10月号

(通算第276号)

## ～ 10月《神無月 かなづき》～

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1日 法の日・土地の日 | 17日 貯蓄の日    |
| 2日 豆腐の日     | 23日 電信電話記念日 |
| 4日 都市景観の日   | 27日 読書の日    |
| 10日 銭湯の日    | 31日 ハロウィン   |
| 14日 鉄道の日    |             |



### 食欲の秋

秋になると食欲が増す理由は、2つあるそうです。

1つは「セロトニン」という成分の分泌量が減るからだそうです。セロトニンは幸せホルモンとも呼ばれ、満腹感を与え、食欲を抑える働きがあります。この成分は日光に当たる時間と比例します。日が短くなってくる秋はセロトニンの分泌が減り、食欲が増します。

もう1つは、気温の低下が原因だそうです。寒くなってくると、体温保持のために基礎代謝が良くなります。その分、多くのエネルギーを消費してしまいます。体が冬を乗り越える為の準備として、本能的に多くの栄養を取り込もうとし、食欲が増すそうです。食欲の秋だからといって、食欲のままに食べていたら身体に良くありません。食べる順番や食事のバランスなどを考えて、楽しく食欲の秋を過ごしていきましょう。

### もみじと楓

「もみじ」は葉の切れ込みが5〜6個で、6〜7枚に分かれています。「楓」は葉の切れ込みが浅く、9〜11枚に分かれています。しかし、実は根本的には同じ植物です。この2つを区別しているのは日本だけなのです。英語ではどちらも「メイプル」と表現されています。また、もみじは「もみづ」という単語が元になっています。平安時代に染料として、植物から出る色素を使って染め物をすることを「揉み出づ(もみいづ)」と言っていました。衣服が鮮やかな赤に染まるように草木が色づく様子にも使われていくようになりました。「もみいづ」という動詞が、「もみち」という名詞に変わり、最終的には「もみじ」に変化しました。一方「かえで」というと、葉っぱの形が蛙の手のように開いていることから「かえるで」「かえで」になったと言われています。「もみじ」と「楓」に定義上の明確な違いはありませんが、昔から日本では葉っぱの切れ込みの数で区別されていました。

## 鬼門

風水が日本に伝わった奈良時代の中国では、北東から鬼のように恐ろしい形相の異民族が攻めて来ていました。中国では、このことから北東方位を恐れ、万里の長城などが作られました。日本に風水が伝来した際に「北東方位は怖い」という思想も一緒に伝わったようです。鬼門と呼ばれる北東はあまり日当たりが良くないため、湿気がたまりやすく、カビが生えやすい方位です。逆に裏鬼門と呼ばれる南西は、西日が当たって温度が上がりにすぎること、物が腐りやすく環境が悪い方位です。このような採光や風通しなどが原因で起こる悪いことを実感していたため、北東（鬼門）や南西（裏鬼門）の考えた方が日本で根付いたようです。

## フクロウ

フクロウという名の由来は諸説ありますが、その一つに鳴き声が語源と考えられています。その名前を「不苦勞（苦勞がないこと）」「福籠」と字をあて、縁起が良い幸福の鳥として愛されています。室町時代、フクロウは邪気を払いのける鳥、神通力に長けた鳥というイメージを持たれておりました。狩りに優れ、農業の守り手とも思われていたようです。江戸時代には「フクロウは神通力を持っている」という伝説から、ほろそ瘡癩避けのおまじないとして、フクロウの張子やおもちゃが流行したそうです。



## 文字・活字文化の日

「文字・活字文化の日」は、2005年に施行された文字・活字文化振興法に基づいて制定された日本の記念日です。

2005年7月に議員立法として、文字・活字文化振興法が施行されました。この法律は、日本における文字・活字文化の振興に関する施策の推進を図り、知的で心豊かな国民生活及び活力のある社会の実現に寄与することを目的としています。この文字・活字文化振興法により、10月27日を「文字・活字文化の日」とすることが定められました。なお、10月27日は読書週間（11月3日の文化の日を中心とした2週間）の最初の日でもあります。この期間中は図書館や出版社、書店などを中心として、さまざまなイベントが開催されます。読書の秋とよく言われますので、皆さんも読書をされてはいかがでしょうか？

## ブログ記事ご紹介

### ◎トイレのトラブル

先日、お客様からトイレの水が流れなくなっていました。ご連絡がありました。タンクがあるタイプのトイレは、タンクの上の蓋が開き、中が見られるようになってきます。写真の丸で囲んだ部分が悪くなっているケースが多いです。その場合は部品の交換または本体の交換が必要になってきます。壊れている箇所によっては応急処置が出来るケースがあります。トイレのトラブルがありましたら、いつでもご相談ください。

<8月27日掲載記事>



リフォーム部 越田裕紀

※ブログ記事は毎日更新！  
ぜひご覧ください！！

<http://daigo.kazelog.jp/>

## わかりますか？

次の日本語は、どこがおかしいでしょうか。

- ① 足元をすくう
- ② 雪辱を晴らす
- ③ 間が持たない
- ④ 怒り心頭に達する
- ⑤ 上には上がいる
- ⑥ 熱にうなされる
- ⑦ お目にかなう
- ⑧ 絆が深まる



## 薬と健康の週間

薬と健康の週間というものがありません。この週間は、厚生労働省、都道府県・地域薬剤師会、日本薬剤師会が実施しています。その目的は2つあります。1つは、医薬品を正しく使用することの大切さを知っていただくためです。もう1つは、薬剤師が果たす役割の大切さを多くの方に知ってもらい、国民の保健衛生の維持向上に寄与するということです。毎年10月17日～23日の1週間、ポスターを用いた広報や、地域住民に向けたイベントなどの啓発活動が行われます。1949年に「全国薬学週間」が開催されたことを契機として、1978年に「薬祖神祭の日」である10月17日からの1週間が、「薬と健康の週間」と定められました。

# 山粧う

「山粧う」、これは俳句で使われる秋の季語です。語源は北宋の画家である郭熙の言葉と言われています。

秋の山が紅葉で色づき、美しく化粧されたような様子のことを表す語句になります。他にも、春は、新しい草木が若芽を吹き、山が淡く色づいて明るくなる様子から「山笑う」。夏は、草木が若葉から緑になり、その緑の葉から水が滴る様子から「山

滴る」。冬は、まるで眠っているかのように静まりかえる様子から「山眠る」と言います。秋の山が綺麗に紅く化粧される、これからの時期が楽しみです。



## 暮らしの雑学・豆知識



～神無月と神在月～

10月は神無月と呼ばれますが、島根県の出雲地方では神在月と呼ばれています。理由は、全国の神様が出雲地方に集まってくるからです。出雲大社には、大地を象徴する「おおくにぬしのおおかみ大国主大神」様が祀られています。やおよろず八百万の神々が集まり、かみはか色々なことを神議りするといわれています。その内容は、人が計り知ることのできないことのようにです。全国の神様が1ヶ所に集まっている間は、恵比寿様恵比寿様や金比羅様金比羅様、道祖神様道祖神様といった神様が留守をしてくださると言われています。

わかりますか？  
解答と意味

- ①足をすくう  
卑怯なやり方で相手を失脚させること
- ②雪辱を果たす  
前に受けた恥を拭い去ること
- ③間が持てない  
時間を持て余してどうしてよいかわからないこと
- ④怒り心頭に発する  
心から怒りがこみ上げること
- ⑤上には上がある  
最高にすぐれていると思っても、さらにすぐれたものがあること
- ⑥熱に浮かされる  
高熱のためにうわごとを言うこと
- ⑦お眼鏡にかなう  
目上の人に評価されること
- ⑧絆が強まる  
人と人との断ち切るこ  
とのできない結びつき  
が強くなること

〈発行〉 次回発行予定 10/23(土)

住まいの事なら  
何でもご相談ください！



### 株式会社大五建設

住所 富岡市上小林216-2

0120-388-406 (通話料無料)

## 求人募集!!

施工管理(現場監督)  
リフォーム営業

詳しくは下記までご連絡  
ください。ご連絡お待ち  
しております。

0120-388-406 (担当: 都丸)

